

第4次小平市子ども読書活動推進計画

— 子どもが本と出会うために —

【令和4年度進捗状況】

令和5年9月

小平市教育委員会

目 次

第 1	家庭における読書活動の推進	・ ・ ・ 1
第 2	学校等における読書活動の推進	・ ・ ・ 4
第 3	図書館・地域における読書活動の推進	・ ・ ・ 7

【第 4 次小平市子ども読書活動推進計画】令和4年度 進捗状況調査報告書

1 家庭における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
1	乳幼児とその保護者へのサービス	図書館	・乳幼児タイムの実施 乳幼児と保護者が、読み聞かせする声などを気兼ねすることなく図書館に滞在できる時間帯を設定	・中央図書館で毎週火曜日午前 10 時 30 分から正午まで「乳幼児タイム」を実施した。	・地区図書館での実施も検討する。
			・乳幼児と保護者が安心して長い時間図書館で過ごせる環境づくり ・小川駅西口新公共床に整備予定の新しい小川西町図書館を、誰もがくつろいで滞在できる場とする環境づくり	・中央図書館の乳幼児コーナーに、ウレタンマットを敷くなど、安心して利用できるような環境づくりを行った。 ・図書館では、良質な本をまとめて選び、自宅でゆっくり楽しめるように、各館で絵本の展示やパック貸出を行った。 ・新しい小川西町図書館の設計について、図書館利用者にとって居心地の良い施設が実現できるよう引き続き調整した。	・安心して心地よく図書館利用ができるよう、図書館の環境づくりに努める。
2	ブックスタートの実施	健康推進課・図書館	・3～4 か月児健診時、子どもと保護者にボランティアが読み聞かせをした後で絵本を配付	・受診者 1,313 名に対し、1,304 冊の絵本と、赤ちゃん絵本リスト、図書館利用者登録申込書を配付した。本来は3～4か月児健康診査時に子どもと保護者に対し、ボランティアの読み聞かせの後で絵本を手渡す事業であるが、令和元年度3月から令和4年度3月初回までは、新型コロナウイルスの感染リスクを抑えるため読み聞かせは中止とし、会場入口で保護者に絵本を選んで取ってもらうのみとした。令和4年度3月2回目は、ボランティアの活動再開を見据え、図書館職員のみで読み聞かせを再開した。 ・読み聞かせのボランティア向けに講演会「本のある子育てを支える——わらべうた・絵本・読み聞かせ」	・子育て中に図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て促進の場として充実を図る。 ・家庭においても絵本を通じた子どもと保護者とのふれあいの時間を持ってもらうきっかけづくりとする。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
				を、東京子ども図書館職員の鈴木晴子氏を講師に開催した。 参加：21 名	
3	図書館における行事の定期的な開催	図書館	・各図書館で「おはなし会」、「絵本のへや」を定期的を開催し、また季節に合わせた特別なおはなし会を開催	・定例のおはなし会【全館】 4 歳児から小学生の部：計 194 回 参加：延べ 626 名 働いている保護者が多いことや、平日昼間は授業等で図書館に来られない子どもたちが多いことから、定例のおはなし会に加え土曜日、日曜日のおはなし会を継続して実施した。 ・「よるのおはなし会」【全館】 (夏の季節に合わせた少し怖い内容のおはなし会) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族単位での参加とし、定員を設けて実施した。計 8 回 参加：延べ 101 名 ・「スペシャルおはなし会」【全館】 (クリスマスシーズンに合わせたおはなし会) 感染症対策として、家族単位での参加とし、定員を設けて実施した。計 8 回 参加：延べ 109 名 ・「絵本のへや」【全館】 (0 歳児からの子どもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうた等) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度 3 月から中止していたが、中央図書館では令和 4 年度 7 月から、地区図書館では 2 月から感染症対策を講じて再開した。 計 23 回 参加：延べ 206 名 ・4 月 23 日からの「子ども読書の日」に合わせて 4 月 2 日から 5 月 18 日を「こだいら子ども読書月間」とし、全館で絵本の展示や本のセットの貸出し、和装本の作成等子どもと本を結ぶ行事を開催した。	・土曜日、日曜日のおはなし会では、平日に来られない子どもたちや保護者に参加してもらうことができたため、継続して実施する。 ・「よるのおはなし会」、「スペシャルおはなし会」は、子どもが多く集まる会だったため、適正な人数を検討し、内容を工夫して今後も開催していく。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
4	これから子育てをする方へのサービス	図書館	・これから子育てをする方へ向けた、「プレパパ・プレママおはなし会」の定例的な開催の検討	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「プレパパ・プレママおはなし会」は中止した。 ・対面を要さない企画として、出産を控えた方や3歳までの子どもがいる家庭を対象に、育児本や絵本、自宅で楽しめるわらべ歌のリストなどをセットにした「本で子育ておうえんセット」の貸出を全館で行った。	・対面せずにできる企画も含めて検討する。
5	おはなし室の開放	図書館	・乳幼児と保護者が、絵本とふれあいながら図書館で過ごせるよう、おすすめ絵本を揃えた上でおはなし室を開放	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していたが、乳幼児と保護者が参加する「絵本のへや」再開に合わせて再開した。引き続き感染対策として、「絵本のへや」をおはなし室以外の部屋で実施した場合は、その部屋を開放し、親子で絵本を楽しむ場を提供した。	・周囲に気兼ねなく絵本を楽しむ場を提供できただけでなく、「絵本のへや」に参加した親子同士の交流を生むきっかけにもなったため、継続して実施する。
6	子育て支援課との連携	子育て支援課	・「子育てガイド」の発行、子ども向け図書館行事の掲載	・「こだいら子育てガイド」に図書館情報や子ども向け図書館行事の案内を掲載して9,000部発行し、図書館のほか、公民館、保育園、関係機関等、子育て世代の利用者の目に触れる場所に設置した。 ・母子健康手帳交付時・転入手続き（手当等）時や子育て中の保護者の目に触れるよう、各公共施設等に設置したことで、図書館の情報を発信することができた。	・今後も継続して実施し、情報提供する。
		図書館	・子育て支援課発行の、子育てに関するガイドブックの受け入れ	・図書館情報も掲載した「こだいら子育てガイド」を図書館資料として受け入れ、子育て関連コーナーや地域資料コーナーに配架した。	・今後も相互協力を行い、それぞれの情報が子育て世代の家庭に届けられるよう努める。

2 学校等における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
1	学校図書館指導年間計画の作成と実施	学校・指導課	・各教科等の学習活動と読書活動推進に関わる計画を作成し、図書館利用の促進、読書時間の確保等の実施	・全ての小・中学校で読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成した。 ・各教科等の授業において、学習内容と関連付け、学校図書館の利用を促進した。また、読書活動の時間を、年間を通して計画的に確保し、児童・生徒が読書に親しめるようにした。	・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保について、継続して行う。
2	学習情報センター機能の充実	指導課・図書館	・子どもが主体的に問題解決のための情報収集や探究活動に取り組む能力を育成するための、学校図書館における学習情報センター機能の充実	・学校図書館協力員を対象に研修を行い、学校図書館の機能の理解・啓発を行った。	・学習情報センター機能の充実を図り、今後も継続して行う。
3	学校図書館システムの整備	学務課	・学校図書館システムの活用	・学校図書館システムを活用して児童・生徒の登録を行い、図書の貸出、返却、予約などの管理業務を行った。	・今後も、学校図書館システムを活用して児童・生徒の登録を行い、図書の貸出、返却、予約などの管理業務を行う。
		図書館	・学校図書館システムの環境整備	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員が、学校図書館システム操作関連の相談に対応した。 ・学校図書館システムの掲示板機能やメール機能、共有フォルダ機能を活用することで、学校図書館協力員との連絡や情報共有を行った。	・今後も、学校図書館システムの掲示板機能やメール機能の更なる活用を進め、仲町図書館を中心とした学校司書の情報共有を図る。また、共有フォルダ機能の活用により、学校司書の研修の更なる充実を図る。
4	学校における市立図書館資料の活用	学校	・図書館の調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）や、年度ごとの学級文庫用の図書貸出（団体貸出）と、学校での活用	・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。	・今後も活用する。
		図書館		・調べ学習図書の貸出： 小学校 14,726 冊 中学校 688 冊 ・学級文庫への貸出： 小学校 10,280 冊 中学校 0 冊	・今後も、調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じる。 ・古くなった調べ学習用図書を順次新しいものに入れ替える。 ・今後も、学級文庫用図書の貸出事業を行うにあたって、学校からの依頼を受け学校図書館相談員が選本する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課・学校	・学校ごとの購入方針・廃棄基準の整備、蔵書の整備	・国基準の達成に向けて、各学校の蔵書率等を考慮した予算を令達した。 ・国基準の達成に向けて学校ごとに計画的に図書を購入するとともに、廃棄基準については全国学校図書館協議会で作成している「廃棄基準」をもとに各学校に基準の整備を働きかけた。	・令達予算により学校の裁量を確保しつつ、廃棄と購入のバランスを図っていく。 ・国基準の達成に向けた蔵書率を考慮し、学校図書の充実に努める。
6	学校図書館担当教諭の資質向上	指導課・学校	・各学校との情報交換及び学校図書館担当教諭の指導力の向上	・年 1 回の学校図書館司書教諭等連絡協議会において、他校や他自治体、ICT を活用した事例等を共有するなどして、担当教諭の指導力向上を図った。	・児童・生徒の読書意欲を高めるための指導の工夫について、事例を共有するなどして引き続き取り組む。
7	啓発・広報の充実	学校	・読書週間の活用、図書館だよりの発行等	・各学校において、年度当初や読書週間に図書館だよりを発行した。	・今後も、読書への関心が深まるような広報を継続して実施する。
8	児童・生徒の主体的な読書活動の推進	学校	・図書委員会の取組や児童・生徒自身による主体的な読書活動の活発化	・小・中連携教育のこだいら共通プログラムの学力向上の取組として、一部の学校において、読書習慣の定着や言語活動の充実、及び発信する力の育成を図るため「ビブリオバトル」を行った。	・今後も、児童・生徒の主体的な読書活動を活発化するために、児童会・生徒会を中心とした主体的な取組事例を共有する。
9	小・中学校の学校図書館の機能の充実	図書館・指導課・学校	・学校図書館の役割である「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実	・学校図書館司書教諭等連絡協議会を 1 回開催し、これからの学校図書館のあり方について学ぶとともに、各校の取組について情報交換を行った。 ・学校図書館協力員の名称を令和 5 年度より学校司書へ変更することとした。	・児童・生徒の主体的な探究活動につながる機能の充実に努める。 ・学校図書館の現状を把握し、機能の充実を検討する。
10	学校図書館協力員への研修会の開催	図書館・学校	・学校図書館協力員への研修会の実施	・学校図書館協力員への研修会を中央図書館等にて 6 回実施した。参加：延べ 152 名	・今後も、研修会を定期的に実施し、学校司書の資質の向上に努める。
11	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館	・学校図書館システム操作に関わる支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員により、システム操作関連の相談に対応した。	・今後も、図書の受入れ・廃棄や蔵書点検、児童の進級に関するデータ処理等、システムに関する相談支援を継続する。
12	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	図書館	・特別な支援を必要とする子どもの特性に配慮した読書環境の整備と読書機会の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデイジー図書の貸出や、図書館所蔵のデイジー図書、布の絵本、LL ブック等の学校図書館への提供による読書活動の支援	・図書館で、布の絵本・遊具や点訳絵本、児童書のデイジー図書や大活字本、外国語の絵本等を収集・配架した。 ・図書館において「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、LL ブックなどの展示をし、	・今後も、支援を必要としている子どもや周りの大人へ情報の周知に努める。 ・今後も、学校図書館との連携を図る。 ・読書バリアフリー法に基づく学校図書館の施策のあり方について研究する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
			・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のある子どもが学校図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。	
		指導課・学校		・個別の実態に応じた図書を、図書館と連携して準備・活用した。 ・図書館と連携し、児童・生徒の多様な興味や学習のニーズに応じて、幅広いジャンルやテーマの本を揃えた。また、子どもたちの特性を考慮して、写真や図、絵が多くある本や短編集等の内容が簡潔にまとめられている本なども揃えた。	・今後も図書館と連携し、読みたい本を探しやすい配架の工夫などの環境整備に努める。
13 ・ 15	幼稚園の図書館見学 幼稚園における読書活動の推進	図書館	・幼稚園の図書館見学の受け入れ ・読み聞かせに関する講座の保護者への情報提供	・市内幼稚園の図書館見学を中央図書館で1園受け入れた。館内の見学の他、児童コーナーの絵本の探し方や利用の際の注意点を伝えるなど、子どもたちの今後の図書館利用に役立つような内容を説明した。 幼稚園の図書館見学受入れ：1園 参加：62名	・図書館見学では、子どもたちの興味を引き、図書館の面白さを直接伝えることができたため、今後も継続して実施する。
14	保育園における読書活動の推進	保育課	・保育士による絵本の読み聞かせや、小平市子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」によるおはなし会の実施	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を十分に講じた上で、保育士が子どもたちに日々読み聞かせを行い、子ども達が自ら絵本を手にとることができる環境を年齢に応じて整えた。 ・「絵本に出てくるメニュー」は、読書週間の前後に保育課栄養士の発信で9回行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度の「おはなし会」は中止とした。	・子どもたちが絵本と触れ合うことで触発された様々な興味が、保育内容の充実につながり、それが更なる読書活動の推進となるため、引き続き取り組む。

3 図書館・地域における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
1	小学校入学年時における図書館案内	図書館・学校	・すべての新1年生に対して、入学時に学校を通して子ども用図書館案内を配布	・図書館の夏休みおすすめ本リスト配布時に、1年生に対して利用登録申込書を配布した。	・すべての子どもたちにもれなく情報が届けられるよう学校と連携する。
2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館	・図書館職員が選んだ、夏休みに子どもたちに読んでほしい本の紹介リストを作成し、市内小・中学校に配布。また、夏休み期間に全館でおすすめ本とリストを別置	・小学校低学年、中学年、高学年用に各18冊、中学生用に18冊を紹介したリストを市立小・中学校の子どもたち全員に配布するとともに、図書館に別置コーナーを設けた。 別置冊数：小学生1,320冊、中学生361冊	・今後も楽しく読める良質な本を紹介する。
3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館	・図書館の仕事を体験してもらう企画として、小・中学生向けには「夏休み家族一日図書館員」、高校生向けには「図書館ボランティア体験」の開催	・「夏休み家族一日図書館員」「図書館ボランティア体験」は中止したが、他の体験型イベントを行った。 「図書館の本で調べてみて、生き物を育ててみよう」【小川西町図書館】参加：12名 「こだいら知識王2022」【中央図書館】参加1名 「小平市中央図書館インドアオリエンテーリング」【中央図書館】参加：35名 「Tシャツでエコバッグをつくろう」【花小金井図書館・大沼図書館】参加：11名	・今後も小学生から高校生の世代の関心をひくような内容の行事の実施を検討する。
4	市内小・中学校におけるブックトークの実施	図書館・学校	・学校からの依頼により、図書館職員が授業や全校集会においてブックトークを実施	・小学校5校・中学校1校からの依頼により、図書館職員が学校に出向き、授業のテーマに合ったブックトークを行った。なお、クラス単位での実施や、体育館での実施、各クラスへの全校放送での実施など、学校の状況に応じて新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら実施した。	・今後も子どもたちの読書活動のきっかけとなるよう様々な分野の本を取り入れたブックトークを行い、また、新たなテーマでのプログラム作成を検討する。
5	読み聞かせに関する講座の実施	図書館	・図書館員を講師とした読み聞かせの講座の実施や絵本の紹介等	・小学校の学校図書館協力員に講師を依頼し、学校や地域で子どもたちに読み聞かせの機会のあるボランティア等を対象に「絵本の読み聞かせ入門講座」を開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、受講者による読み聞かせの実践は行わずに実施した。 参加：9名	・良質な本の選び方や読み聞かせについての講義と、読み聞かせの実践の両方が学べる講座であるため、今後は実践も行いながら実施する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
		公民館	・子どもの読書に関わる講座を実施	・花小金井南公民館の子育て支援講座「はじめての子育て」において、絵本の選び方、絵本の読み方といった内容で、図書館職員より、子育て世代を対象とした講義を行った。参加：延べ7名 ・仲町公民館なかまち LINKS 講座「孫育て・自分育てのための絵本講座」において、孫育てに役立つ読み聞かせの意義と絵本の選び方といった観点も踏まえて、一般向けに講義を行った。参加：16名	・絵本を通し、子どもの感受性や創造性を豊かにし、親子のコミュニケーションを図る機会の創出につながる講座の実施に努める。
		地域学習支援課	・「小平地域教育サポート・ネット事業」における地域住民等のボランティア対象の研修等において、図書館員を講師とした講座等を実施	・学校図書館ボランティアの養成等を目的とする講座を、13校で16講座実施した。参加：延べ188名	・今後も継続を図り、子どもの読書環境の充実につなげる。
6	子どもたちにとって魅力ある図書館の環境整備	図書館	・ティーンズコーナーの充実、環境整備	・各図書館のティーンズコーナーに、ティーンズ世代向けの図書・雑誌を収集・配架した。 ・中央図書館では、「仕事」「進路」「部活」に関する本の展示など、ティーンズ世代に興味・関心をもってもらうための取組を行った。 ・科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道100冊」の展示を行った。 ・なかまちテラスティーンズ委員会で「なかまちテラスティーンズ委員会大賞」の本を選び、結果をポスターで各図書館に掲示した。委員が大賞本のPOPを作成し、仲町図書館ティーンズコーナーで大賞本・大賞候補本とともに展示した。	・今後も中・高生を中心としたティーンズ世代の関心をひくような内容の展示・行事の企画に努める。
7	子どもの読書推進の支援	図書館	・子どもの自発的な読書につながる取組の実施	・「読書ノート」を作成して秋の読書週間に配布及びホームページに掲載し、本を5冊読んだ記録を図書館に提出した子どもに賞状を渡す企画を実施した。 ・好きな本とその理由を書いてもらったカードを掲示し、新たな本との出会いの場を提供した。 ・おすすめ本のほか図書館の利用や本に関するクイズ等を掲載した「こだいらとしょかん子ども新聞」を年に4回発行、配布し、ホームページにも掲載した。	・作成した読書ノートを、イベント性を持たせながら活用する。 ・今後も自発的な読書を促す取組として、子どもが楽しく参加し、本に親しめるような取組を企画する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
				・科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道 100 冊」の展示を行った（再掲）。 ・読書のきっかけとなり、その後の学習や読書活動につなぐものとして令和 3 年度に導入した学習マンガの新規購入を継続して行った。 ・本を選べない子どもが本を手取るきっかけ作り、自分では選ばない本を読む機会の提供として、テーマと年齢ごとにまとめた本のセットの貸出を行った。 ・本を借りておみくじを引くイベントや、スタンプをためてプレゼントをもらうイベント、絵本の内容についてのクイズを解いてもらうイベントを実施した。 ・各館の児童書展示コーナーにおいて、季節に応じた図書の展示を行った。	
8	職場体験、奉仕体験、インターンシップや実習生の受入れ	図書館・学校	・図書館の様々な業務を体験してもらう中学生の職場体験の受入れ ・司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れ	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中学生の職場体験は中止した。 ・インターンシップ実習生として大学生 2 人を受入れた。	・今後もキャリア教育の一環として、また、図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため実施する。
9	ティーンズ委員会の開催	図書館	・10 代の中高生を募集してティーンズ委員会を開催	・対面により計 6 回の委員会を開催した。 ・委員による話し合いのもと、フィクション部門・ノンフィクション部門で各 1 冊の大賞作品を選出した。 ・委員が大賞本の POP を作成し、仲町図書館ティーンズコーナーにて大賞本・大賞候補本とともに展示した。（再掲） ・大賞決定に関するポスターを市内中学校・各図書館に配布し周知を図った。（再掲）	・今後は学校図書館等と一層の連携を行い、ティーンズ委員会の周知を図る。同時に多様な参加者による交流の機会を提供することにより、青少年の読書活動の推進を図る。
10	情報リテラシーの支援	図書館	・レファレンスサービスの充実、情報リテラシーを養うための企画の検討及び啓発	・商用データベースを小・中学生の調べ学習での利用のために提供した。	・中学生・高校生に対するレファレンスの充実を図るとともに、情報の正しい評価・活用方法等が身につく企画を検討する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
11	アーカイブの利活用促進	図書館	・郷土学習に「こだいらデジタルアーカイブ」を利活用してもらうための講座・イベント等の開催	・デジタルアーカイブについてのパスファインダーをホームページに掲載した。	・デジタルアーカイブを活用したイベント等の実施を検討する。
12	市内の高等学校との情報交換	図書館	・高校生の読書推進や図書館利用につながる展示、行事の開催	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事は中止した。 ・科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道 100 冊」の展示を行った（再掲）。	・高校生が必要としていることや、学校生活の中で役立つことなどに応じた企画を検討する。
13	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	・布の絵本・遊具、点訳絵本や録音図書、大活字本、外国語の図書・絵本の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデイジー図書の貸出 ・デイジー図書・マルチメディアデイジー図書、LLブック、大活字本等のPR ・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のある子どもが市立図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	・サピエからのダウンロードを含むデイジー図書の個人貸出を 636 タイトル行った。 ・「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、LLブックなどの展示をし、通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。 発達障がい啓発特別展示では、障がい者支援課と連携して、ペアレントメンター（発達障がいの子どもを持つ親の相談員）事業、白梅学園大学小平市連携療育事業、子ども家庭支援センター事業、児童発達支援センターの紹介も併せて展示した。	・引き続き、通常の活字資料の利用に困難がある子どもの読書を支援する資料・体制の充実に努める。 ・今後も支援を必要としている子どもや周りの大人たちに情報が届くよう努める。 ・読書バリアフリー法に基づく図書館の施策のあり方について研究する。
14	ホームページの充実	図書館	・見やすく使いやすいホームページを目指した内容の充実	・図書館で行っている展示の資料リストを図書館ホームページから閲覧して予約もできるように Web-OPAC に掲載し、利用者が自宅から予約する資料を選択しやすくした。	・図書館のホームページをさらに見やすく使いやすくし、魅力ある情報を伝えられるよう充実に努める。
15	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館	・地域で子どもの読書活動推進のための活動を行う小平市子ども文庫連絡協議会に対する活動場所の提供や行事の共催等による支援	・協議会単独の活動場所の提供及び市との共催行事を実施した。 【共催行事】 ・小平市子ども文庫連絡協議会 50 周年記念事業講演会「子どもと本がであうとき一変わるもの、変わらないもの」講師：杉山きく子氏、参加：会場 40 名、ZOOM26 名、計 66 名 ・児童文学講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ一鳥の巣がおしえてくれること」講師：鈴木まもる氏、参加：47 名	・小平市子ども文庫連絡協議会による図書館行事への協力など、今後も相互協力する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
16	児童館における読書活動の推進	子育て支援課	・児童館内の図書コーナーの充実と絵本の読み聞かせや紙芝居などの行事の開催	・各館で読み聞かせイベントを実施した。 【花小金井南児童館】 ・かみしばいサークル「ともしび」による、紙芝居の読み聞かせを隔月実施 参加：延べ 119 名 ・乳幼児向け絵本、小学生向けマンガの追加 ・保護者向けに子育て情報誌を定期購読で追加 【小川町二丁目児童館】 ・乳幼児向けの読み聞かせイベントを毎月 1 回実施 参加：延べ 196 名 ・乳幼児向け、小学生向けに読み物・マンガを追加。 ・乳幼児保護者向けのおすすめ絵本や子育てに関する書籍のコーナーを設置 【小川町一丁目児童館】 ・乳幼児向けイベントとして「いっしょにおはなし」を月 1 回実施 参加：延べ 45 名 ・その他職員推薦図書を毎月選定して紹介	・利用者の実態に合わせた書籍の選定を、継続して行う。 ・引き続き、中高生が興味を持つ雑誌や書籍・マンガを購入する。 ・乳幼児ふれあいあそび内の読み聞かせに加え、再開する乳幼児クラスでの読み聞かせ、職員推薦図書の紹介を引き続き実施する。
17	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課	・絵本の読み聞かせや紙芝居等の実施	・小学校全校で実施している放課後子ども教室において、紙芝居・読み聞かせ等の教室を 11 校で開催した。	・今後も、放課後子ども教室の事業継続を図り、子どもの読書活動につなげる。
18	学童クラブにおける読書活動の推進	子育て支援課	・学童クラブ内の図書コーナーの充実と読書の時間の確保及び読み聞かせの実施	・学童クラブにおいて、新たに 761 冊（うちマンガ本 440 冊）を購入し、充実に努めた。	・今後も、図書コーナーの充実を継続実施する。
19	児童文学講演会の開催	図書館	・大人に向けた児童文学に関する講演会等の開催	・小平市子ども文庫連絡協議会との共催行事として、児童文学に関する講演会を開催した。 【共催行事】 ・小平市子ども文庫連絡協議会 50 周年記念事業講演会「子どもと本がであうとき一変わるもの、変わらないもの」講師：杉山きく子氏、参加：会場 40 名、ZOOM26 名、計 66 名（再掲） ・児童文学講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ一鳥の巣がおしえてくれること」講師：鈴木まもる氏、参加：47 名 （再掲）	・小平市子ども文庫連絡協議会と協力しながら大人に対する児童文学の啓発に取り組む。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和4年度実績	今後の展開等
20	リサイクル本の提供	図書館	・ブックリサイクル予定の本を市内の保育園等に提供	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育園等への提供は中止したが、常設のブックリサイクルコーナーを設置した。	・関係機関の要望に応えるとともに、リサイクル本の有効活用ができるため、提供していく。
21	子ども読書の日になんだ行事の開催	図書館	・「子ども読書の日（4月23日）」になんだ行事の開催 ※注）子ども読書の日は、国民に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に「子どもの読書活動の推進に関する法律」第十条により定められている。	・4月2日から5月18日の期間を「こだいら子ども読書月間」とし、各館で「おはなし会で読まれた絵本」や、布の遊具・絵本の展示を行った。また、中央図書館では、豆本や豆和装本を作成するイベントを開催した。 「豆和装本を作ってみよう！」参加：3名 「豆本を作ってみよう！」参加：11名	・「こだいら子ども読書月間」は、全館における取組としていることから、市内全域で読書に対する子どもの関心を高めることができるため、今後も継続して実施する。

第 4 次 小 平 市 子 ど も 読 書 活 動 推 進 計 画
【令和 4 年 度 進 捗 状 況】

発 行 令和 5 年 9 月
編集・発行 小平市中央図書館
小平市小川町 2 丁目 1325 番地
電話 042 - 345 - 1246 (代表)
電子メール tosyokan@city.kodaira.lg.jp